

第2回「今後の高速道路のあり方に関する政府及び地方関係者との懇談会」の開催（全国知事会）

12月24日（火）、「今後の高速道路のあり方に関する政府及び地方関係者との懇談会」が、午後1時30分から、内閣府3階特別会議室において開催されました。当日は、政府側から石原行政改革・規制改革担当大臣、中馬国土交通副大臣をはじめ4名が、地方側から木村青森県知事（本会建設運輸調査委員会委員長）、平松大分県知事（全国高速道路建設協議会会長）、北川三重県知事、嶋津事務総長ほか3名の地方関係代表者が出席し、中馬副大臣から道路関係四公団民営化に関する平成15年度予算について説明があった後、今後の高速道路整備のあり方等について意見交換を行いました。

本会を代表して出席した木村知事は、12月19日（木）に開催した全国知事会議において、国と地方が対等の立場で議論する場を設けることなど8項目を盛り込んだ「今後の高速道路の整備に関する緊急提言」を決議し、官邸や国土交通省等関係要路に要請したことを説明するとともに、今後の高速道路の整備については、料金プール制を堅持し、早期に整備を進める等の意見を述べました。

また、平松知事は、「民営化に当たっては、料金収入から整備に投資できる額の最大値を見出し、その全額を整備に充当すること。」、「新直轄方式については、地方の厳しい財政事情に配慮している点は評価するが、整備路線の便益評価には、ネットワーク効果等様々な効果を加味するとともに、新たな負担や不公平を生じさせないこと。」等の意見を述べました。

さらに、北川三重県知事は、12月21日（土）に取りまとめた「これからの高速道路を考える地方委員会」の意見書を説明するとともに、推進委員会の「意見書」は公団の債務等内部経済を重視しすぎている点を指摘し、道路特定財源を含めた財政の見直しが必要であり、「この国のかたち」（公共インフラ整備に対する国のスタンス）を今後は明確にさせるべきである等の意見を述べました。

なお、「今後の高速道路のあり方に関する政府及び地方関係者との懇談会」地方関係出席者は、次のとおりです。

今後の高速道路のあり方に関する政府及び地方関係者との懇談会

地方関係者出席者名簿

日 時：平成14年12月24日（火）13:30～

場 所：内閣府3階 特別会議室

地方公共団体名	職 名	氏 名
青 森 県	知 事 (全国知事会建設運輸調査委員長)	木 村 守 男
三 重 県	知 事	北 川 正 恭
大 分 県	知 事 (全国高速道路建設協議会会長)	平 松 守 彦
栃木県栃木市	市 長 (全国市長会相談役)	鈴 木 乙 一 郎
徳島県小松島市	市 長	西 川 政 善
佐賀県北方町	町 長 (全国町村会常任理事)	松 本 和 夫
全国知事会	事務総長	嶋 津 昭